



富岡小が交通安全 子供自転車全国大会出場！

8月3日、東京都で開催される交通安全子供自転車全国大会に出場する選手・監督5人が市長を表敬訪問しました。

訪問した選手は、富岡小学校交通安全団の稲場桜花さん、田中聖悟さん、立川大夢さん、寺町高寛さん（以上、富岡小学校6）です。

同少年団は、7月26日に開催された岐阜県交通少年団自転車安全大会において、団体の部で優勝。



市長 立川大夢さん 稲場桜花さん 監督
田中聖悟さん 寺町高寛さん

また、同大会の個人の部では、4人全員が入賞するなど、素晴らしい成績を収め、全国大会への切符を手に入れました。

大会に向け選手の皆さんは、「メダルをもらうため、チームで精一杯頑張りたい」「みんなで力を合わせて優勝したい」「チーム全員力を合わせて、失敗しても励まし合って優勝したい」「一人ひとりを合せて、満点で優勝したい」とそれぞれ意気込みを語りました。

選手の決意表明を受け市長からは、「チーム全員の目標である優勝を目指して、頑張ってほしい。一生懸命頑張れば、絶対優勝できる」というエールが選手に送られました。



全国中学校体育大会 出場選手 表敬訪問



8月16日、水谷恭輔さん（帝京大学可児中③・サッカー）、岡田純奈さん、古田竜也さん（以上、高富中③・柔道）が「全国中学校体育大会」の出場報告に訪れました。3人は「優勝できるよう頑張りたい」「中学最後の大会なので、1つでも多く勝てるよう全力で取り組みたい」「一戦一戦を大切に、上位を狙いたい」と意気込みを語りました。

教育長は、「結果も大事だが、取り組んだ内容も大事になる。力を尽くしてほしい」とエールを送りました。

山県市がラジオ体操優良団体 として岐阜県表彰



山県市がラジオ体操優良団体等表彰の岐阜県表彰を受け、8月8日、かんぱ生命保険岐阜支店長の木村聡さんが教育長に表彰状などを手渡しました。

ラジオ体操優良団体等表彰はラジオ体操の普及奨励に寄与した団体や個人を対象とする表彰で、山県市は、開庁日の朝に毎日ラジオ体操を行っていることや山県市ラジオ体操・みんなの体操会の取り組みなどが認められての表彰となりました。

また、個人表彰では、市内在住で岐阜県ラジオ体操連盟理事などを務める鷺見明俊さんが、東海地方表彰を受けました。

田中さん、吉井さんが 柔道全国大会出場を報告



8月4日、田中佑哉さん（富岡小⑤）、吉井なつみさん（高富小⑥）が「全国小学生学年別柔道大会」の出場報告に訪れました。

選手の2人は、「全国大会で日本一になり、オリンピックを目指したい」「昨年この大会で3位だったので、今年は優勝したい」と抱負を語りました。

教育長は、「練習でできなかったことが、試合でできるようになることがある。全国大会に出場し、成長して帰ってきてほしい」と励ましの言葉をかけました。

地域で楽しくふれあう 高富ふれあい夏まつり



8月5日、市役所南側駐車場で高富ふれあい夏まつりが行われ、地域住民など多数の来場者がまつりを楽しみました。

このまつりは、今年で14回目を迎え、地域の活性化や地域住民の親睦を目的に行われました。

まつり会場では、バザーのほか、高富中学校、山県高等学校吹奏楽部の演奏、市舞台芸術振興会による和太鼓演奏、ものまねショーや、お楽しみ抽選会などさまざまなイベントが催されました。

まつりの最後には、花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。

勇壮な竜廻しを披露

伊自良夏まつり

8月6日、伊自良ふれあい・さわやかドーム周辺で伊自良夏まつりが行われました。

まつり会場では、伊自良地域の自治会によるバザーや、芸能ステージイベント、小学生による雨乞い「十六拍子」の演奏などが行われました。

また、十六拍子の雨乞いの歌に合わせ、大・小2匹の竜廻しが披露されました。地域住民による迫力ある竜廻しに、来場者も目を奪われました。

まつりの最後に打ち上げられた花火に、歓声や大きな拍手が湧きました。



地域を越えてみんなで盆踊り

三自治会夏祭



8月19日、南、旭ヶ丘、蛭ヶ丘の3自治会の共催で、お互いの親交を深めることを目的に、「三自治会夏祭」が行われました。

このまつりは市協働のまちづくり推進補助金を活用して行われ、会場では各自治会が結成した踊り隊を中心に、地域の人たちが盆踊り大会に参加。大勢で輪になって盆踊りを楽しみ、参加者は自治会を越えて交流を深めていました。

幻想的な明かりが川面に映える

みやま川祭り

8月26日、西武芸橋周辺で第10回みやま川祭りが行われました。

このまつりは、西武芸地区の象徴である武儀川に感謝し、地域の活性化や親交を深めるために毎年行われています。橋の欄干や川面一面に設置された灯籠がかわかた、幻想的な雰囲気会場が包まれるなか、来場者は屋台やのど自慢大会などのステージイベント、盆踊りなど多くの催しを楽しみました。





夏休みの思い出づくり 香り会館ワンコイン講座



8月2日、四国山香りの森公園内
香り会館でワンコイン体験講座が行
われました。

夏休み中の小学生を対象とした講
座で、ドライフラワーやリボンを飾り
付けたオシャレ小物入れ作りや、粘土
感覚で作るかわいいキャラクターの
キャンドル作りを行いました。

参加者は作成した小物入れ、キャ
ンドルに、思い思いの香りを付け、
オリジナルの作品を完成させました。

市外から初めて香り会館を利用し
た当講座の参加者は、「こんなに手
軽に体験ができるなら、またぜひ利
用したい」と感想を語りました。

柿渋の原料、 伊自良大実柿を収穫

伊自良大実柿を収穫

8月18日、伊自良地域で伊自良大
実柿の収穫がありました。

伊自良大実柿は伊自良地域北部の
みで栽培されている渋柿で、今回の
収穫作業は、柿生産者で作る伊自良
大実連合会が中心となり、市内外の
有志や岐阜女子大学の学生などが参
加しました。

当日は朝から雨に見舞われました
が、目標となる2トンを無事収穫し、
青々とした柿は池田町にある柿渋の
製造業者へ運ばれました。



FC岐阜 山県市ホームタウンデー

山県市ホームタウンデー



8月20日、長良川競技場で行われ
たFC岐阜とカマタマーレ讃岐の対
戦に併せ、山県市ホームタウンデー
が行われました。

試合直前のセレモニーでは、市
長、山県市観光協会長が両チームに
市の特産品である「黒にんにく」を贈
呈。また、市のPRとして、来場
者先着200人に、オリジナルス
ティックバルーンの配布や、黒にん
にく味見セットをプレゼントしまし
た。さらに、グルメ観光ブースでは、
ハヤシライス、朴葉寿司などが販売
され、来場者は、市の名物に舌鼓を
打ちながらサッカーの試合を楽しみ
ました。

宝くじ助成金で 消防団備品 投光機を整備

消防団備品 投光機を整備

平成29年度コミュニティ助成事業
（地域防災組織育成助成事業）の助成
金を受けて、山県市消防団活動備品
の充実強化を図ることを目的に投光
機を整備しました。

投光機は、災害現場などで活動す
る消防団員の安全および安心を確保
するために活用します。

コミュニティ助成事業とは、（一
財）自治総合センターが社会貢献広
報事業として、宝くじの受託事業収
入を財源として実施している事業で
す。



平成29年度山県市少年の主張大会

6月18日に行われた山県市少年の主張大会で優秀賞に輝き、岐阜県大会に出場した作品を紹介します。

闊生涯学習課 Tel.22-6845

私達がつくる、 高齢化社会の未来

高畠中学校 二年 杉山 奈央莉

日本人の平均寿命が、過去最高を更新。男性八〇・七九年、女性八七・〇五年。

昨年の夏休み、私はこのニュースに興味をひかれ、「進む高齢化社会」の現状について調べようと、新聞記事を集めました。

「二七電話詐欺」「強盗殺人」「孤独死」……。私は毎日のように新聞で目にする、高齢者が被害者・犠牲者となる悲惨な事件の多さに



驚かされました。そして、高齢者が何故こんなにも多くの被害を受けるのか、狙われるのか、犠牲になるのか、疑問に思いました。でも、すぐにその理由が分かりました。それは、「独居老人の増加」、周りに相談できる友人・知人、身内がない「孤独な高齢者の増加」です。

私は、祖母と父の会話を思い出しました。それは、「父が交通事故を起こし、その解決に必要なお金をすぐに用意して欲しいという電話が、祖母しかない屋間に、父の職場からかかってきた。」というものでした。祖母はその場で嘘だと分かり被害者になることはありませんでした。その時、もし父が電話に出ることができなかったら、祖母は……。

繰り返される高齢者が被害者となる悲惨な事件。次は私の大切な家族が、被害者・犠牲者になるかもしれない。そう思うと、私はとても不安な気持ちになりました。新聞記事を集める中で、安心できる記事もたくさん見つけることができました。それは、「高齢者を見守る人・身近な地域・市や町」の存在を知ったことです。「詐欺

にだまされた、じいちゃん、ばあちゃんがかわいそうになった。」と話す、被害防止の活動を続ける詐欺被害防止啓発キャラクターのワルサギ君。高齢者と地域住民が共に活動し、顔見知りになれる行事を実施するたくさんの地域。高齢者の様子をつかもうと宅配業者と協定を結んだり、高齢者の足となるコミバスを走らせたりしている市や町。

私が住む地域でも、銀行には詐欺被害防止を呼びかけるポスターが貼ってあります。グラウンドゴルフ大会や市民運動会など、高齢者が気軽に参加できる行事も実施されています。コミバスも走っています。高齢者にとって生活しやすい環境づくりは、私が住む地域でも、会社や大学、自治会や市の力で、確実に前へ進められています。でも、……。

今、高齢者の孤独は、本当に解消されているでしょうか。解消されていくのでしょうか。私は、その最後の鍵を握るのは、やはり、高齢者の近くに住む人、「私達」だと思います。

私が小学生の頃、地域に住む高齢者の方が、見守り隊として登下校の安全を見守ってくれました。

毎日、一緒に歩き、たくさんたくさん話をすることで、顔見知りになり、仲良くもなれました。地域の歴史や米作り、野菜作りも優しく教えてくれました。亡くなった祖父が、地域の歴史について小学生と話した日、その様子を、本当にうれしそうに家族に話していた姿が今でも忘れられません。

進む高齢化社会。孤独を解消し、被害者・犠牲者となる高齢者を無くす最後の鍵を握るのは、地域で共に暮らす、私達一人ひとりの「心」です。次は私達が行動する番。私達が高齢者の元へ行き、直接顔を合わせ、会話し、共に楽しい時を過ごす。地域の中に顔見知りが増え、何でも話せる、いつでも相談できる関係ができれば、孤独、被害者・犠牲者となる高齢者は無くすことができるはずです。私はまず、地域で出会う高齢者に、私から笑顔で挨拶。そして、地域行事にも積極的に参加し、笑顔で交流することから始めます。まず私から笑顔で。

進む高齢化社会。守る、守られる社会、安心と幸せが溢れる「未来」を、私達の優しい心と行動で、全ての高齢者に届けましょう。さあ一緒に。